

わかば児童課

北棟

北棟では「僕の気持ちを伝えたい！」を目標として、子どもたちの豊かな内面をさらに伸ばし、より充実した生活にするために「コミュニケーション支援」に取り組んでいます。

Y君の取り組みを紹介します。Y君は大人しく、自分からコミュニケーションを取るのが苦手なお子さんです。自分の気持ちを少しずつ表現していく練習として、「コミックが欲しいです」等のコミュニケーションカードを用いて職員にお願いしたり、お菓子カードの中から食べたいおやつを選択したり、少しずつ表現の幅が広がっています。選択したものがでてくるという経験を積み重ねて適切なコミュニケーションの勉強中(^ ^)。日々成長を見せてくれています。(矢野)



西棟

Tくんは、今年度の3月に卒業します。そのため、卒業してからの新しい生活に備えて、買い物外出をしています。以前の外出で、Tくんは、自分で支払いをすることを嫌がるがありました。そこで、外出前に支払いの練習をしました。すると、その日の買い物は自分でお金を支払いました。また、Tくんは新しいものを受け入れることが少し苦手です。歯磨き粉を買いに行った時、自分で気に入ったものを選んでもらうことにしました。Tくんは、売り場で悩んだ結果、園では使っていないものを選びました。Tくんはこれから、今まで以上に自分で選択する機会が増えます。それが特別なことではなく、当たり前のこととしてやっていけるよう今後もサポートしてきたいと思います。(佐野)



東棟

みどり成人課

東棟の意思決定支援には二つの設定を考え取り組んでいます。

一つ目は支援者が選択場面を設定し、利用者さんが選択できる機会を提供している支援です。例えば、東棟は火、木、土、日、祝日にティータイムで手作りおやつを中心に提供しています。月に1回以上ケーキやパンを購入し、好みのケーキやパンを選んで食べていただきます。他に購入した雑誌で見たカフェに行き目的のパンケーキを食べたり、自販機や買い物で好みのものを買ったりしています。

二つ目は利用者さんご本人からの選択場面の設定です。様々な場面で利用者さんの選択場面提供があります。お茶が欲しいときに写真を指差して教えてくれますが提供しても飲んで頂けないことがあります。理由はコップの色が今日の好みと違っていたからです。すぐにコップを選んで頂きお茶を飲んでくださいました。また、到着替えた衣類を交換してほしい時、中庭に出て日向ぼっこをしたい時、音楽を聴きたい時など様々な選択場面を設定していただきます。

このように職員は日常の中で利用者さんからの選択メッセージをしっかり受けとめた意思決定支援にこれからも取り組んでいきたいと思ひます。(中村)



余暇時間に好きなCDを選んでかけています。本人が好きなCDを1つの冊子にまとめて選べるようにしています。「〇〇がいいの」と言って要求したり、曲名やアーティスト名が思い出せなくても「これにする」とCDを職員に渡したりしています。CDだけでなく音楽番組やアニメ番組等、本人の興味がある番組を録画し提供しています。

たくさんものの中から選べるように、〇ずさんでいるものやノリがいいものなどを普段から観察し好きなものの幅を増やしています。好きなアーティストの新曲の情報なども提供しています。CDにするかTVにするか選んだりその時の気分に合わせて好きな音楽や番組を選んだりすることで、楽しく過ごせる時間の提供に努めています。(中野)



南棟

地域生活支援課

生活介護B班



Oさんは作業の時間に、自分で写真カードを選び、取り組みたい作業の順番を決めています。この方法を取り入れてからは、職員が一方向的に決めていた時に比べると、やる気も作業効率も向上しました。今後も写真やカード等視覚的なツールを使い、少しでも自分で選択できる場面を増やしていきたいと思ひます。

B班外出の事前学習では自分の行きたい外出先を、「マクドナルド」「スターバックス」「公園」の中から、写真や絵カードを使って選ぶ練習をしました。想像していなかった外出先のカードを選ぶ方もあり、新たな発見もありました。今後も、意思や希望を表現することが難しい方にも選びやすいよう、ツール作りや環境構成等、工夫していきたいと思ひます。(桑原)

生活介護C班

生活介護C班の利用者さんは、どなたも外出するのが大好きです。秋風の心地よい季節を迎え、食べたいものをテイクアウトし、空の下での食事を楽しもうと企画しました。食事メニューは、日々の会話や好みの食べ物からリサーチし、5つの候補を挙げ、お店の看板と具体的な商品の写真を用意して見てもらい、選択してもらうことにしました。

写真を並べ始めた先から笑顔がこぼれます。選んだ写真を何度も指差ししてくれる方、写真をじっくり見つめる方、「決めたいな！」と言葉にしてくれる方、文字で書いてくれる方、迷って2つの写真を交互に指差される方、伝え方はそれぞれですが、楽しみな様子が伝わりました。今回の外出が、自然や季節を感じ、充実した時になればと思ひます。(表原)



給食

「意思決定」を支援する取り組みの一つとして、給食では、食べたいメニューを誕生日に提供する「リクエストメニュー」を入所の方に実施しています。オーダーできるのは各自1品というルールがあるため、利用者さんは考えました(^ ^)。「オムライス」と「ハンバーグ」どちらも食べたい方は、「ハンバーグオムライス」をオーダー！。同様に「エビフライカレー」や「唐揚げラーメン」といった合わせ技が定番になっていたところ、さらに強者が！最近のトレンドは、トッピングのバラエティー化！。「バラエティー〇〇」とオーダーすれば、数種類のごちそうがトッピングされて、ボリュームも満点。唐揚げもエビフライもハンバーグもウィンナーもいいな。そんな方々に、大変喜ばれています。(村中)



給食のメニューにないものをリクエストされる方も！写真は「ロールキャベツ」(左)と「たらこスパゲティー」(右)。お祝いのカードを添えて♥

川部みどり園まつり中止について

前号で、10月17日(土)に開催予定とお知らせした川部みどり園まつりですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、残念ながら、今年中止することとしました。来年度は充実した川部みどり園まつりが開催できるようにしたいと思っています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。(佐藤)

総合防災訓練

8月25日、総合防災訓練を実施しました。平日の午後、震度5強の地震が発生し、児童一般棟(西棟)から出火したという想定でした。今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、消防署の方の立会がありませんでしたが、利用者さんは、職員の誘導に従って避難されており、消防署の方にも褒めていただけの避難だったのではと思いました。(秋山)



寄附について

7月15日、松谷化学工業株式会社様から希少糖含有シロップ「レアシュガースウィート」3ケース(36本)をいただきました。利用者さんのおやつ作り等に利用しています。また、10月8日、高松北ロータリークラブ様から「しるとり動物園年間パスポート」35枚をいただきました。ありがとうございました。(秋山)

研修案内

1月から3月にかけて、「強度行動障害支援者養成研修」の基礎研修と実践研修を開催します。今年度は小規模での分散開催を予定しております。現在、申し込みを受け付け中ですので、是非御参加ください。

また、「サービス管理責任者等基礎研修」は、「相談支援従事者初任者研修」の講義部分を受講している方が対象となります。令和3年度の相談支援従事者初任者研修は、6月頃開催予定ですので、計画的に御受講ください。ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。(溝内)

編集後記

今回は利用者さんの素敵な姿と、川部みどり園の取り組みを紹介させていただきました。これからも利用者さんの元気な姿を発信し、笑顔溢れる川部みどり園でありたいと思います。(太田)

感染症対策について

新型コロナウイルスに対し川部みどり園では様々な感染予防対策をしています。感染状況に応じて面会制限や外出自粛など、皆様にも協力をお願いしています。職員も研修会に参加し、感染症対策の知識を深め、手指衛生の徹底、環境消毒、換気など、感染予防対策に一丸となって取り組んでいます。下校後のバス消毒や、コンタクトポイントの消毒は、感染予防対策として今年新たに開始しました。これからの季節は、インフルエンザやノロウイルスなどの発生時期とも重なるため、更なる予防対策強化が必要となります。沼田園長指示のもと、感染症対策委員会(仮称)の設立や、マニュアルの見直しなどを行っており、更に感染予防対策を充実させていく予定です。(飯間)



新規ボランティア登録状況

コロナウイルスの影響で上半期の行事がほぼ中止になってしまった今年度。

一般ボランティア28名、学生ボランティア45名とたくさんの申し込みをいただきありがとうございます。「園外への外出」「余暇活動の充実」「みどりっこクラブ」。どれもボランティアさんに助けられ計画することができています。常時募集しておりますので興味のある方はご連絡ください☆(安藤)

苦情解決処理状況

(令和2年7月1日～10月31日)

苦情受付件数 0件

◇お知らせ

今年度より、利用者さんやご家族から寄せられた相談・要望等への対応結果について、個人情報に配慮した形で掲示し、お知らせすることとなりました。場所は管理棟の北側玄関、自動ドアの内側で、休日でもガラス越しに見えていただけるようにしています。すべてのことに対応できるわけではありませんが、みなさまの声を大切に、より良い川部みどり園となるよう、職員一同、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(水永)



<編集・発行>

〒761-8046 高松市川部町418

香川県立川部みどり園 TEL(代)087-885-8600

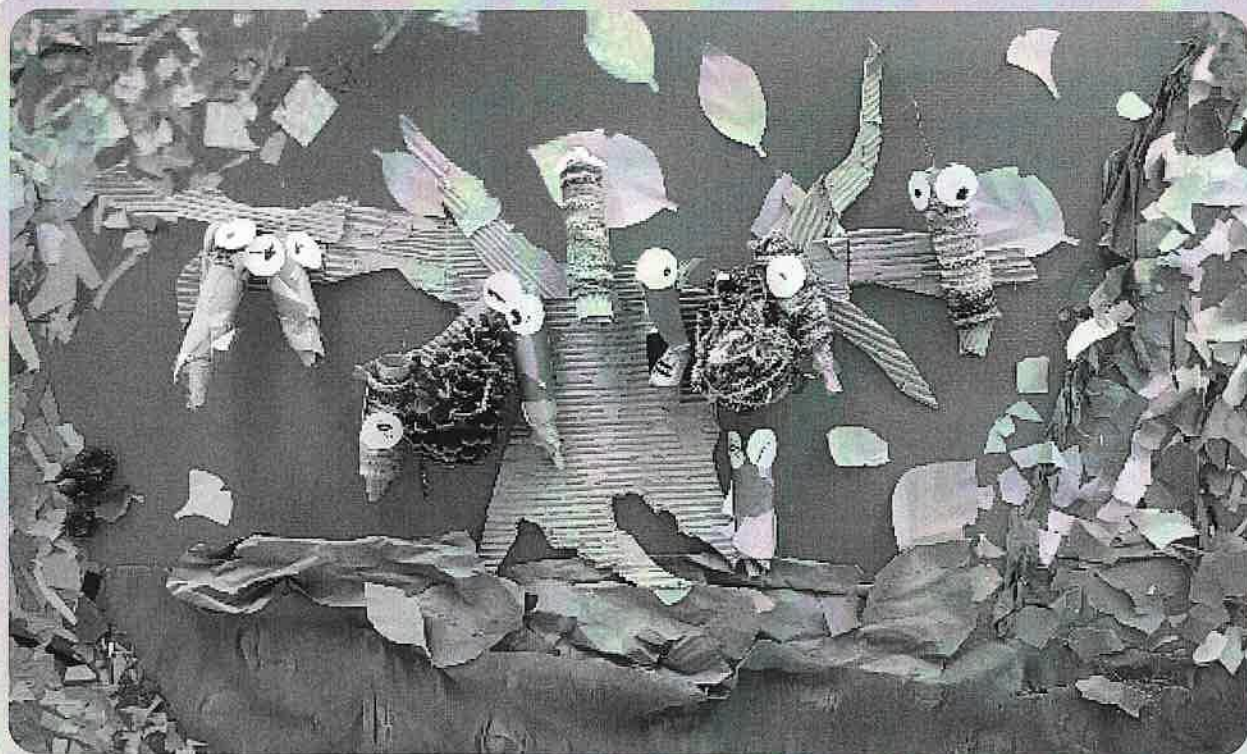
E-mail:midorien@pref.kagawa.lg.jp

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/midorien>

みどり

第59号

題字 沼田 章



「新しい生活様式」

あずき氷菓と米を一緒に炊くと私の大好物の赤飯になるというのでやってみた。見た目は赤飯だが食べる
と甘すぎて主食にはならなかった。ホットサンドメーカーを使用して簡単にアップルパイを作るレシピを見
つけ早速作った。これは旨かった。日曜の朝食には食パン・クリームチーズ・コーヒーフレッシュでバスクチー
ズケーキ風トーストなるものに挑戦。莫大なカロリーに脅えながらも易々と完食。昨夜は甘栗・塩昆布・も
ち米・酒で炊いた栗ご飯。秋の趣を楽しんだ。外食を控えており食事メニューがマンネリ化してきているため、
「新しい生活様式 (新しいレシピ)」にトライしているのだ。

新型コロナウイルス感染防止対策で、施設生活にも「新しい生活様式」を取り入れる必要があるが、利用者の生活
に制限しかないのは許されない。「安全安心」は提供するサービスの基本ではあるが、それにこだわるあまり
「生きるうえでの楽しむ」権利を奪ってはならない。

コロナ禍で「旅行しづらい」「大勢で外食できない」我々は、それでも他に楽しみを見出そうとしている。
先日の新型コロナウイルス感染症対策研修では「正しく恐れる」ことを学んだ。新型コロナを正しく恐れて、その上
で我々が享受する楽しみと同等のものを利用者に積極的に提供できているだろうか。いずれの事業所もその
兼ね合いに大変苦労されていることと思う。「できないことを嘆く」より「できることを粛々とやって」い
きたい。

甘すぎて主食にならなかった赤飯は、翌日おにぎりにしてごま塩をふりかけ、さらに粒あんをまぶすと、
これはこれはうまいおはぎに変身した。やはり「ぜんざいには塩がいる (田村一二)」のだ。塩をうまく使っ
て「施設での新しい生活様式」を楽しみたい。

(園長 沼田章)